

令和4年度 第3回大谷小学校学校運営協議会 会議録

- 1 日時 令和5年2月17日(金) 8:40~9:50
- 2 場所 大谷小学校 校長室
- 3 出席者 石井正雄 藤澤ゆかり 桐生行雄 今別府淳子
(敬称略) 春山茂樹 島仲京子 山形圭介

4 内容

○ あいさつ

春山校長：新型コロナ、インフルエンザ共に感染による欠席者が減り、落ち着いてきている。新型コロナ感染症が5月に第5類になる予定であることもあり感染症対策の見直しを図っていく。

(1) 教育活動アンケートについて

春山校長：学校教育目標を大谷中学校区3校共通で取り組んできた。今年は「深める学び」を重点目標にした3年目だった。様々なことに疑問を持って自分で調べていこうと呼びかけてきた。そこから深い学びに繋がっていければと考えている。

石井委員：学校だよりをメールで送るところがあると聞くと、そうすると地域の人には案内が来なくなるのか。

春山校長：ゆくゆくはメールになってくると思う。地域の方と伝え方が違ってくとも考えられる。

桐生委員：アンケートの10番「困ったことがあったら、だれかに相談しますか」という問いは低学年と高学年では質が違うであろう。また質問の仕方によっても結果は違って来るだろう。

今、低学年でも毎日5時間だが、疲れるといった声はないか。

春山校長：一般的な話としてはあるが、慣れてくるところもある。

桐生委員：幼稚園は早い時間に帰れるので抵抗感があるのではないか。

島仲教頭：幼・保・小の連携においては「かけはしプログラム」の導入もあり、1年生がスムーズに学校生活を送ることができるようにR5年度からスタートカリキュラムを見直すよう取り組んでいく。

(2) 令和4年度学校教育目標・学校経営方針について

春山校長：大谷中学校区の3校で同じ学校教育目標にし、10年を見通した取り組みを行ってきた。「豊かな心」(3年)、「深い学び」(3年)を経て、来年度から「健やかな体」(2年)について重点的に取り組んでいくことになる。

しかし「健やかな体」というテーマで、新たなことに取り組んでいくことは中学校では難しい点がある。そこで行事等で小学校が取り組んでいるこ

とを、中学校で受け継ぐ方向で進めている。小学校では今まで行ってきた活動について、児童・教師共に共通理解をもって取り組みたい。例えば(行)間は外で遊ぶこと、サンサuntime等はなぜ取り組むことになったのかよく理解することで自主的な活動にしていきたい。

桐生委員：大事なことだと思う。体力テストの結果が低下しているというが、子どもが何のためにやるのか理解していれば継続的なものにつながっていくであろう。

藤澤委員：食育にも力を入れてほしい。食育は家庭と子どもをつなぐ大事なものである。他地域では地域社会の取組として子ども食堂もある。

あゆみが廃止されるニュースを見たが、そのようなことはあるのか。

春山校長：学校裁量ではあるが、通知表に代わるものが必要になってくる。一人一人言葉で伝えていくことは必要である。海老名では来年度2学期の所見をなくす。代わりに保護者には面談を行って伝えていく。

桐生委員：新しい通学路の様子はどうか。

今別府委員：特に問題なく定着している。人通りも多く安心である。車もスピードを出していない。子どもも危険なところは気を付けて歩いている様子が見受けられる。

(3) コミュニティ・スクールについて

石井委員：2月4日に海老名市コミュニティ・スクール連絡会があった。各校との情報交換の資料があるので目を通してほしい。柏中学区では小中合同学校運営協議会が先行して行われた。

春山校長：小中合同開催については、先行実施のところから課題を解決しながら取り組むようにしていきたい。

山形教諭：杉本小学校などは海老名中学校、柏ヶ谷中学校に分かれ、中学校区が分かれてしまうので困難なこともあると聞く。

○ その他

島仲教頭：来週21日(火)に3年生が総合的な学習の時間に取り組んできた大谷歌舞伎の上演があるので、ご都合がよければ来ていただきたい。

(4) 次回の日程について

5月12日(金) 9時～10時